

のと共栄信用金庫社の里支店 環境行動計画

取組方針

地域に根ざし、地域の皆様とともに歩み続ける「のと共栄信用金庫」は、地域金融機関として地域社会の発展に貢献することを経営の重要課題としています。

また、当金庫は豊かな自然に恵まれた能登をはじめ、いしかわの環境を保全し次世代に引き継いでいくため、環境保全の重要性を認識し、自らの事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組むとともに、金融という仕事を通してお客様の環境保全活動を支援していくことが、企業の社会的責任(CSR)であるとの考えから、以下のことについて取り組んでいきます。

- ① 事業活動に伴う省エネルギーと省資源への取組
- ② 廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③ 環境配慮型金融商品の推進
- ④ 地域環境保全活動の取組

この方針に基づいて職員一人ひとりが高い環境意識を持ち、自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成22年12月22日

のと共栄信用金庫社の里支店

支店長 稲葉 隆宏

3. 環境負荷低減の取組目標及び具体的な取組項目

当店では、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、取組目標及び具体的な取組項目を設定して行うこととします。設定した目標及び取組項目は、以下のとおりです。

【目標1】電力使用に伴う二酸化炭素の排出量を、21年度を基準に23年度までに2.4%削減する。

【具体的な取組】

- ① 室内温度を適温に設定する。(参考：冷房26度、暖房22度)
- ② 給湯室、通路等人のいない場所の消灯を徹底する。
- ③ 人のいない場所の空調機の電源OFFを徹底する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効率を高める。
- ⑥ 窓側で必要な照度が確保できる場合はできるだけ消灯する。
- ⑦ クールビズ・ウォームビズの実施。
- ⑧ ノー残業デーの実施。

【目標2】ガソリン使用に伴う二酸化炭素の排出量を、21年度を基準に23年度までに2%削減する。

【具体的な取組】

- ① エコドライブに取り組む。
 - ・ 停車時のアイドリングストップ
 - ・ eスタート(やさしい発進)
 - ・ 経済速度での運転
 - ・ 余裕を持った車間距離、加減速の少ない運転
 - ・ 給油時のタイヤ空気圧のチェック
- ② 渉外活動の効率化を図る。
- ③ 渉外活動に行く際は、携行品のチェックを徹底する。
- ④ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ⑤ 車両の点検を定期的に行う。

【目標3】廃棄物の排出削減とリサイクルの推進に努める。

なお、廃棄物の排出量の測定と取組目標については今後検討する。

【具体的な取組】

- ① ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める。
- ② 製品をできるだけ長期間使用する。
- ③ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ④ グリーン製品の使用に努める。
- ⑤ ファイル、ホルダーなどは繰り返し使用する。

【目標4】コピー用紙の使用量を、21年度を基準に23年度までに2%削減する。

【具体的な取組】

- ① コピーをする際は、その必要性を十分考えてコピーする。
- ② コピー機のスタートボタンを押す前に、必ず設定状況(枚数、濃度等)を確認しミスコピーをなくす。
- ③ コピー終了の際は、次の人のミスコピーを防ぐため、リセットボタンを押すことを励行する。
- ④ 回覧等内部で使用する文書は、両面コピー、縮小コピー、裏面コピーに努める。
- ⑤ 顧客情報等を含まないコピー用紙の裏面活用を図る。
- ⑥ コピー機のガラス面は、常にきれいにしておく。
- ⑦ コピー機やプリンターのそばに再利用紙専用トレイを置き、再利用紙の活用を図る。

【目標5】環境配慮型金融商品の推進

【具体的な取組】

- ① 環境保全活動に取り組む個人や企業等に環境関連金融商品(預金・融資)を推進する。

【目標6】地域の環境美化活動の取組

【具体的な取組】

- ① 年2回石動山での森づくり活動を行う。
- ② 毎月のボランティアデーに店舗周辺等の清掃美化活動を行う。
- ③ 地域の環境保全活動を行う。

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境保全活動の責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。